



Yokohama Arts Foundation

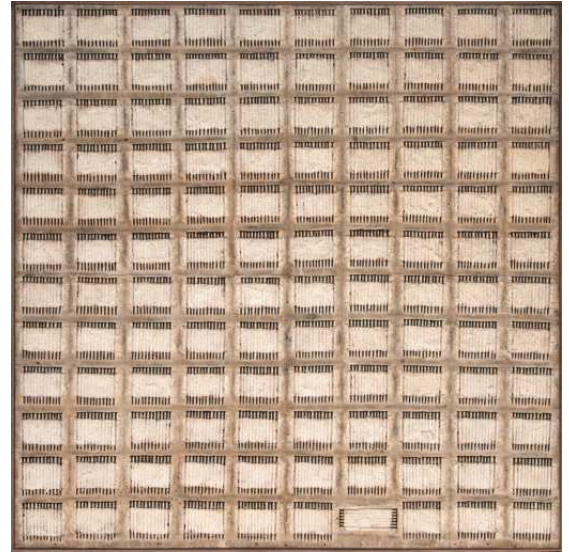
記者発表資料

平成31年2月28日
(公財)横浜市芸術文化振興財団
横浜市民ギャラリー

～伝説の「今日の作家展」でたどる～
横浜市民ギャラリーコレクション展2019
「昭和後期の現代美術－1964～1989－」が開幕！

横浜市民ギャラリーは、1964年の開設から、企画展や海外の姉妹友好都市との交流展、横浜ゆかり作家の個展など、さまざまな展覧会をおこなってきました。展覧会を機に収蔵したおよそ1,300点におよぶ所蔵作品は、年に一度「コレクション展」を開催し公開しています。

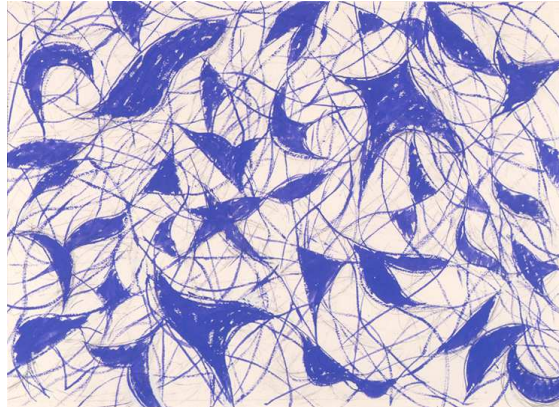
1989年の横浜美術館開館まで、市内の美術施設として中心的な役割を果たしてきた側面をもつ横浜市民ギャラリーの所蔵作品には、当時の横浜の美術シーンが反映されています。1989年は昭和の最終年にあたることから、当館の所蔵作品の背景には「昭和」が深く関わっているといえるでしょう。平成の最終年におこなう今回のコレクション展では、開館年より開催されてきた現代美術を紹介する年次企画展「今日の作家展」の出品作家の作品を中心に展示し、時代ごとの背景などを踏まえながら横浜を舞台に発表された当時—昭和後半期の表現を考察します。



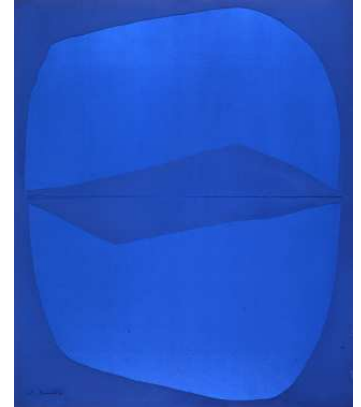
吉仲太造 《死の売り声(釘A)》1963年
新聞紙、釘、綿、白土顔料、パネル 181.5×181.8 cm



岡本太郎 《まひる》1963年
油彩、キャンバス 91.1×73.1 cm



高松次郎 《青の線と面》1983年 ガッシュ、紙 46.6×64.8 cm
©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates



斎藤義重 《ボウバンC・青》1971年
合成樹脂、アルミ板 72.3×60.3 cm

1. 展覧会概要

タイトル：横浜市民ギャラリーコレクション展2019 昭和後期の現代美術－1964～1989－

会 期：2019年3月1日（金）～3月17日（日）

10:00～18:00（入場は17:30まで） 17日間、会期中無休

会 場：横浜市民ギャラリー 展示室1、B1（横浜市西区宮崎町26-1）

入 場 料：無料

出品点数：47点

主 催：横浜市民ギャラリー（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社 共同事業体）

2. 本展のみどころ

(1) 所蔵作品で振り返る「今日の作家展」

横浜市民ギャラリーが開館した1964年から40年以上にわたり開催した現代美術展「今日の作家展」。今回は所蔵作品のなかから、昭和が終わる1989年までの「今日の作家展」の出品作家の作品を中心に47点を展示します。当時、また今も第一線で活躍するアーティストたちが出品作家として名を連ね、現代美術の代表的な発表の場の一つとして重要な役割を果たしてきた「今日の作家展」を振り返りながら、今も古びない先鋭的な表現を紹介します。

(2) 魅力的な特集展示、関連イベントなど

◆特集展示「吉仲太造、その表現」

昭和後期を舞台に実験的な制作を続けた吉仲太造の全収蔵作品7点を展示し、その表現や時代性を掘り下げます。これまで展示機会の少なかった大型作品を含め、一堂にご覧いただける貴重な機会となります。

吉仲太造（よしなか・たいぞう、1928-1985）

京都に生まれ、1952年に東京に転居。瀧口修造が企画したタケミヤ画廊での個展や、岡本太郎に招かれた二科会第九室への出品で頭角をあらわし、実験的な制作を続けた。「今日の作家展」には4回出品している（1965、1974、1975、1976年）。



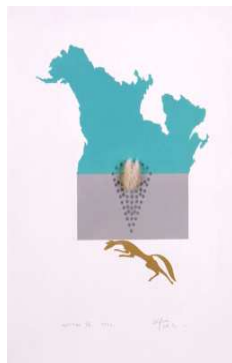
吉仲太造《夜》1974年
シルクスクリーン、油彩、キャンバス 91.7×116.8 cm

◆市民の眼でみて語る「鑑賞サポーター」が活躍

ボランティアメンバー6名が事前研修で出品作品について調べ、自身が受けた印象や感想を盛り込み執筆した「鑑賞サポーターによる作品紹介シート」を配布します。また、会場でのトークもおこないます。

◆貴重な証言、出品作家のインタビュー映像上映

横浜市民ギャラリーでは近年、横浜の美術史の貴重な証言者である収蔵作家や企画展の関係者にインタビューをおこない、アーカイヴしています。本展では新規収録した中林忠良氏、若江漢字氏（ともに本展出品作家）のインタビューを上映します。



若江漢字《Winter》1990年
ステンシル 66.5×50.5 cm



中林忠良《転位'88-地-II（横浜A）》1988年
エッチング、アクアチント 39.6×39.9 cm

関連イベント ※いずれも参加無料、申込不要

講演 「1964年から：現代美術と横浜市民ギャラリー 吉仲太造を中心に」

3月3日〔日〕 14:30～16:00 会場：4階アトリエ

出演：光田由里（美術評論家）

学芸員によるギャラリートーク

3月10日〔日〕 14:00～14:30 会場：展示室1、B1

鑑賞サポーターによるトーク

3月9日〔土〕、16日〔土〕 各日 14:00～ 会場：展示室1、B1



昨年度の「鑑賞サポーターによるトーク」

※ぜひ本展の取材、情報掲載をお願い申し上げます。
取材の際は事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

横浜市民ギャラリー【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

館長 佐々木 真二 担当 齋藤、大塚、河上 TEL：045-315-2828